

With

ウイッス

～私たちが私たちらしく暮らせる地域づくりを
みんなですすめようという意味を込めています～

西宮市社会福祉協議会 共生のまちづくり課 生活支援コーディネーター

小藪(全市)・高井(中央)・金森(鳴尾)・牧(瓦木)・吉岡(甲陽園)中川(甲東・山口)・辻井(塩瀬)

〒662-0857 西宮市中前田町1-23 地域共生館ふれほの内

TEL(0798)61-1361 FAX(0798)61-1409 kyoseimachi@n-shakyo.jp

生活支援コーディネーター この1年を振り返る ～地域でうまれる様々な関わり～

“コロナ禍”となって約2年が経ちました。

地域活動もまだこれまで通りとはいかない中、地域には新たな活動の形を試行錯誤している人たちがたくさんいます。

この1年、私たちが出会った方々や新たに生まれた活動を紹介します。

地域×『学生』

大学の多い西宮市では地域活動に関心を持ち、ボランティアなどを通じて“学び”と“実践”を深めている学生がたくさんいます。

平木地区では、関西学院大学社会学部の学生と地域のNPOが協働して『みまもりあいステッカー』を作製し、賛同する店舗などが日ごろから見守りを進めています。ステッカーを住民に知ってもらうために子ども向けイベントを実施するなど活動の広がりが生まれています。

学生は『地域の方のあたたかさを感じることができた』、住民は『学生から見た地域の姿を聞き、まちの魅力を改めて発見した』と良い出会いになっています。

これからも住民と学生が互いの“得意”を活かしあいながら、地域の中に活躍の場が生まれる、そんなチャレンジを私たちも応援していきます。



地域×『〇〇〇』

地域×『本人(障がい当事者)』

神原地区では2021年11月に『神原まちあるき』がスタートしました。

重い障がいを持つ本人との交流活動「神原青葉のつどい」のメンバーも参加し、毎月2回、1時間程度、皆でおしゃべりを楽しみながら、お散歩をしています。まちあるきを通して初めて知り合った方も、回を重ねるごとに打ち解け、集合場所で顔を合わせると明るい笑顔で挨拶を交わしています。

車いすの方と歩くことで、「こっちの道を行くと、大変だね。」とまちの中で新たな発見があります。

コロナ禍の中、皆で同じ時間を楽しむための取り組み。

あたたかな春を迎え、これからのまちあるきが楽しみです♪



地域×『福祉施設』

コロナ禍であっても地域との交流を諦めない福祉施設の皆さんがネットワークを組んで実践を進めています。

見守りタイガー(甲子園浜)

甲子園浜地域では“見守りタイガー”と称し、送迎車に見守りステッカーを貼り送迎時にまちの見守りを行っています。10月には小学校に各施設の送迎車が集結しお披露目会を行い、子どもたちのヒーローとして日々活動しています。

今後も施設同士の力を合わせるとことで地域貢献を進めていきます。



見守りタイガー

紹介動画/円勝会 YouTube より





共生型地域交流拠点(春風)

すまいるサロン春風

～みんなでつくる地域の居場所～

市内で取り組みがすすんでいる「共生型地域交流拠点」についてシリーズで各拠点の様子を紹介しています。



場 所：甲子園浦風町1-1
 開設日時：火～金 9時半～15時半 (※2022年4月～予定)
 内 容：喫茶
 協力法人：社会福祉法人西宮市社会福祉事業団
 スタッフ：拠点運営者11人

“すまいるサロン春風”のあゆみ

R 元 地区ネットワーク会議で交流拠点開設について検討。いくつか候補場所から現在の空き店舗に決定

R 2 開所式実施 (コロナの影響によりその後休止)

R 3 拠点活動 再開
 (週3/1日5時間、最初は、飲食提供無し)

R4春 週4日・1日6時間へ開設日数/時間を増やす予定

“地域の中にいつでも行ける場所が欲しい”
 地元のサロン活動が休止となり、そんな声があちらこちらから聞こえていました。地域の課題を話し合う“地区ネットワーク会議”を中心に拠点づくりの準備を進め、あつという間に開設の日を迎えました。しかし、開設後すぐにコロナの影響でやむなく休止に…。

いよいよ再開すると、休止中に声をかけていたPTAや居場所づくりに興味のある方等様々な世代のメンバーが集まりました。スタッフ企画でフードパントリーを実施するなど、拠点での活動にみなさん胸をおどらせています。ぜひパワー全開のすまいるサロン春風にお越しください。

開所式ではくす玉を割って
お祝いました。 →



←ほっとできる
アットホームな空間



各地に広がる！共生型地域交流拠点 ～代表者交流会開催～



★NEW★
 来年度は南甲子園と甲子園浜にて拠点オープン予定！おたのしみに♪

来年度開設予定の2つも含む市内7つの拠点の代表者が集まり、オンラインで交流会を実施しました！各拠点の活動状況や、今悩んでいる事、拠点を運営する中で大切にしている事等さまざまな意見が交わされました。

蔓延防止措置により拠点を休止しているが…「お便りを発行して見守り活動をしています」



交流会を通して“地域にちょっと立ち寄れる場がある大切さ”を改めて強く感じました。これからも応援し合いながら、各地区そして全市での活動の輪を広げていきたいですね。